

## 早稲田大学 スポーツ科学部 現代文 講評

### 〔総合分析〕

出題形式	マーク式
試験時間	90分（現代文2問、古文・漢文融合1問）
特徴・その他	

### 〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
(一)	スポーツをめぐる文化論	具体例は身近な話題であり読み易いが、抽象的な議論を展開している部分は丁寧に論旨を追って読む必要がある。設問自体は容易である。標準的な問題。	標準
(二)	ダンスをめぐる身体論	身体論は近年頻出のテーマであり、問題演習などを通して慣れ親しんでいる受験生も多いだろう。設問も素直なものであり、容易に解けるはずである。標準的な問題。	標準

### 〔総合コメント〕

<p>問題文にはスポーツ科学部らしいものが選ばれており、設問も容易であることを考えると、多くの受験生にとって取り組み易い問題である。</p> <p>ケアレスミスを少なくし、手早く問題を処理してゆくことが求められる。「スポーツ」「身体」等の語をタイトルに含む新書を読んでおくことを勧める。</p>
---